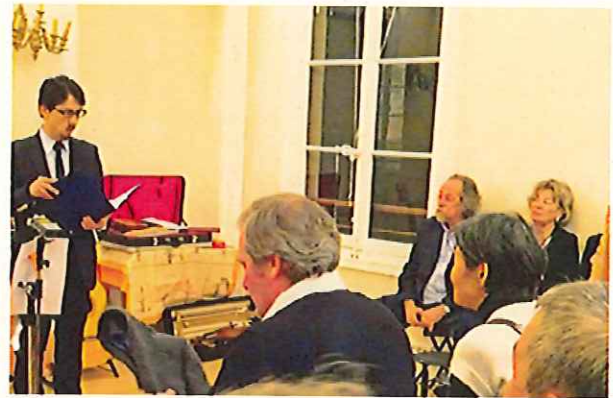


阪神・淡路大震災復興20年 パリで「記憶と追悼のコンサート」を開催 ～兵庫県パリ事務所からの報告～

阪神・淡路大震災から復興20年目を迎える今年、1月19日に、様々な形で復興支援を受けたフランスの方々に対する感謝を込めて、兵庫県パリ事務所の「ひょうご交流センター」で記憶と追悼のためのコンサートを開催しました。

このコンサートで演奏いただいたのは、フランスを拠点に世界で活躍するラテン音楽グループ『ロス・コヤス』の皆さん。メンバー全員が日本と同じく頻発する地震や風水害等の自然災害の猛威と戦う試練を経験していることから、震災復興20年の節目に、亡くなられた方々を追悼し、友情と連帯の気持ちを音楽に託した演奏協力の申し出をいただきました。

コンサートには、被災児童をフランスに招待して心のケアにご協力いただいたフランス国際セキュリティコミッティーからジャンドレさん、被災地支援のための物資救済や義援金集めに奔走いただいた日仏文化芸術友好協会会長のジャコブさん、パリ兵庫県人会の松本会長、パリで支援Tシャツを企画・デザインいただいたTeal green社代表のヴィンセンティさん、その他、これまで様々な形でご支援いただいた多くのフランス国内の方々、日本大使館やOECD代表部等政府関係・



震災復興20年に込めた兵庫県知事メッセージを紹介

公的機関の方々、日本からは原テツアキ県会議員も駆けつけ、約60名にご参加いただきました。

「記憶と追悼」の趣旨に合わせて厳選し演奏された14曲は、力強くそれでいて優しい音を紡ぎ、アンコールに唱歌「ふるさと」を美しい日本語で披露いただき、会場全体を感動で包み込んでくれました。

演奏後は、復興20年のあゆみを伝えるパネル等を展示する隣室で、全員が触れ合う交流会を開催し、皆さんから沢山の感激の声とともに、美しく復興している兵庫県への応援の声をいただきました。



珠玉の14編に会場全体が包み込まれ酔いしれた



震災復興パネルを掲示して20年の歩みを伝える

※詳細についてのお問い合わせは

(公財)兵庫県国際交流協会 企画広報課, 交流・協力課
TEL 078-230-3267 まで